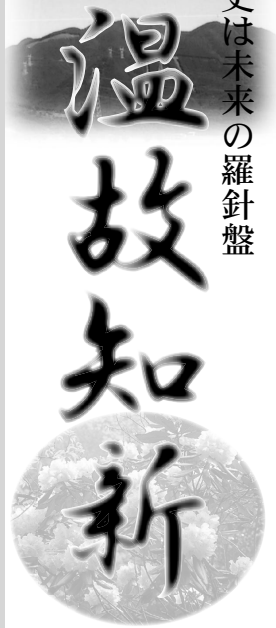


歴史は未来の羅針盤



『近江日野の歴史』の各巻にはCD-ROMが付録されます。今回は、現在作成しています「民俗編」の付録CD-ROMについてご紹介します。

### 付録CD-ROMの利点

『近江日野の歴史』では、できるだけ多くの写真を掲載するよう努めていますが、紙幅の関係から限りがあります。また、掲載写真は口絵を除きすべて白黒であり、

臨場感などの点ではカラー写真には及びません。特に民俗編では、祭りなど多くの民俗行事を取り上げます。図や表を利用しつつ、できるだけ分かりやすくなるよう心掛けていますが、本編だけではその内容を理解してもらうには十分とは言えないかも知れません。

付録CD-ROMは、このような本編の印刷物という制約を少しでも解消し、内容を理解する上で参考となる資料の収録を目的としています。具体的には、本編に掲載できなかった多くの写真をカラーで収録します。また、民俗行事に特徴的な臨場感あふれる人々の声や楽器の音色なども収録し、写真や文字だけでは伝えきれない情報

も提供します。これらの資料により、文章中心の本編では伝え切れなかった行事の様子を詳しく知ってもらうことができます。

### 身近な民俗行事を知る

民俗編の付録CD-ROMでは、町内で特徴的かつ主要な民俗行事を収録します。「日野祭」や「芋競べ祭」などの日野町を代表する神社祭礼は当然のことながら、四季折々に町内各地で行われる地域に密着した民俗行事も多数取り上げます。

特に、山の神祭りや野神祭りなどは、分布密度の高さや内容の多様性から学術的にも注目されています。しかし、これらの祭りは農耕祭祀と強く結びついた地域に昔から伝わる民俗行事であり、人に見せるということはあまり前提にされていません。祭場も神社祭礼とは違って集落はずれの一角や山中であり、たとえずぐ近くに住ん

でいても、わざわざ他地域の民俗行事を見に行く人もありません。まして、山の神祭りのように正月早々の、しかも早朝に行われるような行事ではなおさらのことです。

また、民俗行事では女人禁制とされる場合もあり、地元に住んでいても女性は一度も見たことがないということもあります。このように、身近で行われている民俗行事であっても意外と知られていないものも多いのです。

### 大きく変化する民俗行事

民俗行事は、無形民俗文化財といわれるように形のない生きた文化財であり、時代とともに変化していく宿命にあります。行事が行われる日はもちろん、祭場や服装などが変更されることはよく見られます。とくに、社会状況が大きく様変わりした昨今では、その内容まで大きな変更や省略がされることもあり、民俗行事としての本

質さえも忘れ去られようとしています。なかでも、子どもや青年が重要な役割を担う行事では、少子化、核家族化の影響を受けて大きく変わりつつあります。

付録CD-ROMでは、これまで撮影された膨大な写真の中から、できるだけ新しく、かつ行事本来の姿が映し出された写真を選び、簡単な解説を添えて、行事の流れや特徴が一目で分かる内容とします。お住まいの地域はもちろんのこと、普段見ることのない他地域の行事も知っていただき、日野町には、古きを伝える民俗行事がいかに豊富であるかを認識していただければと思います。

### ★★★お知らせ★★★

第6巻「民俗編」は、平成20年3月刊行の予定でしたが、編集作業の遅れにより延期させていただきます。予約いただきました皆様には、ご迷惑をお掛けしますが、今しばらくお待ちいただきますようお願いいたします。刊行の準備が整い次第、改めてご案内いたします。

なお、割引特典がある予約申込期限も延長いたしますので、是非この機会にお申し込みください。